

2019年度予算のお知らせ

2019年2月19日の第185回組合会において、「2019年度予算及び事業計画」等が承認されましたので、その概要をお知らせします。

一般勘定

保険料収入及び保険給付費は、被保険者数等の減少によりともに総額が減少します。しかし、保険給付費は、消費税増税に伴う診療報酬改定等により1人当たり額は増加します。高齢者納付金は、加入者の減少や前々年度の精算により総額は減少しますが、支出総額に占める割合は、健保組合の全国平均を上回って保険給付費と同規模に達し、今年度も赤字予算となる主因となっています。保険料率は、別途積立金を取り崩すことにより2018年度と同率に据え置きます。このような中、加入者の健康寿命の延伸、将来の医療費抑制のための保健事業費は、「データヘルス計画」に基づき下記の重点施策を積極的に取り組む事業計画としており、さらに加入事業主とのコラボレーションにより「健康経営」を推進する費用も予算計上しておりますので、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

重点施策

- ◆ 事業主との連携一層強化(健康経営推進等)
- ◆ ポピュレーションアプローチの強化(時間栄養学の実践、運動等)
- ◆ 特定保健指導等の委託先変更後の効果検証と効果向上
- ◆ 被扶養者の特定健診受診率向上
- ◆ 前期高齢者対策の実施

予算の概要

【収入】被保険者数等の減により保険料収入減!!

武田健保の収入の9割を占める保険料収入は、平均被保険者数および標準報酬月額並びに標準賞与額の減少に伴い減少する予算となっています。医療費や高齢者納付金等の支出を下回る収入規模(赤字予算)のため、別途積立金を取り崩します。

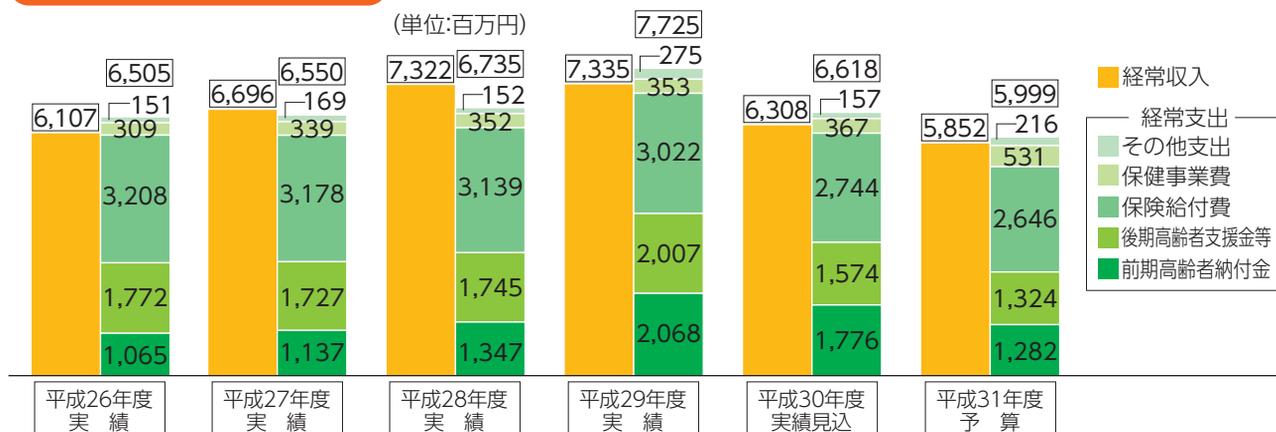
【支出】「健康経営」推進費用を予算計上!!

保険給付費は、消費税引き上げに伴う診療報酬の増額改定に加えて医療の高度化・インフルエンザが大流行した場合を想定して算出し、被保険者1人当たり保険給付費は増え、支出総額に占める割合は、42%を占めています。

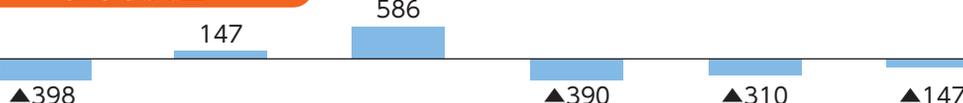
高齢者納付金については、前期高齢者納付金・後期高齢者支援金ともに、加入者減の影響を踏まえ算出していますが、後期高齢者支援金は、前々年度の確定精算もあり、高齢者納付金全体では、支出総額に占める割合は保険給付費と同規模の41%となります。

保健事業費は、データヘルス計画に基づき、被保険者はもとより被扶養者の健康づくりのサポートについても積極的に推進する予算としています。また、加入事業主とコラボして「健康経営」を推進する費用についても予算を確保しています。支出総額に占める割合は、8%と健保組合平均より相当高い水準となります。

6年間の経常収支状況



経常収支差



【一般保険料率】

2019年度の一般保険料率は、前年度と同じ8.384%(被保険者:3.544%、事業主:4.84%)に据え置き、保険料収入でまかなえない部分は別途積立金を取り崩します。

2020年度以降も医療の高度化による医療費の増加傾向、高齢者納付金の負担増が続いて赤字が拡大し、シュミレーションでは2021年度に別途積立金が15億円にまで減少すると見込んでおり、財政上好ましくないため保険料率を引き上げざるを得ない状況となります。

〈収入の部〉

(単位:百万円)

科目	平成30年度 実績見込	平成31年度 予算額
	健康保険料収入	6,291
健康保険料	6,290	5,839
上記のうち特定保険料	3,388	2,606
その他	1	1
調整保険料収入	110	92
別途積立金繰入	162	291
その他収入	166	70
経常収入	6,308	5,852
収入合計	6,729	6,293
保険料率	8.384%	8.384%

〈支出の部〉

(単位:百万円)

科目	平成30年度 実績見込	平成31年度	
		予算額	保険料収入比(%)
事務費	134	204	3.49
保険給付費	2,744	2,646	45.32
法定給付費	2,594	2,533	43.38
付加給付費	150	142	2.43
高齢者納付金	3,364	2,606	44.64
前期高齢者納付金	1,776	1,282	21.95
後期高齢者支援金	1,574	1,324	22.68
退職者給付拠出金	14	0	0.00
保健事業費	367	531	9.09
その他支出	119	106	1.82
予備費	0	200	
経常支出	6,618	5,999	
支出合計	6,728	6,293	
経常収支差	▲310	▲147	
法定準備金	1,916	1,916	
別途積立金	4,163	3,872	
平均被保険者数(名)	8,142	7,630	

【被保険者1人当たり金額】

健康保険料の1人当たり負担額は、年間で76.5万円です。このうち、保険給付費が32.1万円、高齢者納付金が34.1万円(保険給付費を2万円上回る)のほか保健事業費6.8万円を確保しています。保健事業費は、加入者の皆さんの健康の維持・増進に確保している予算です。健診受診やウォーキングキャンペーンへの参加やスポーツクラブの利用補助やBetter Healthポイント制度などをうまく利用すれば、健康増進につながり、将来の医療費は抑制できますので積極的にご利用ください。

主要科目別の1人当たり金額

(単位:円)

科目	平成30年度 実績見込	平成31年度 予算	増減額
医療費・出産関係費用等の保険給付費	337,063	321,197	▲15,866
高齢者医療制度への納付金	413,150	341,570	▲71,580
前期高齢者納付金(再掲)	218,148	167,961	▲50,187
後期高齢者支援金(再掲)	193,319	173,585	▲19,734
退職者給付拠出金(再掲)	1,674	24	▲1,650
人間ドック等健診・保健指導等の保健事業費	45,103	69,543	24,440
その他支出	17,543	53,979	36,436
経常支出合計	812,859	786,289	▲26,570
健康保険料収入	772,549	765,249	▲7,300
健康保険料収入 - 経常支出合計	▲40,310	▲21,040	

介護勘定

介護納付金は、平成29年8月より総報酬割が導入され、平成31年度は、通年で3/4が総報酬割となり、2号被保険者1人当たり負担額は引上げられます。一般勘定と同様に2号被保険者数が対前年度見込比、(本人家族合計で)69名減の5,811名となるものの総報酬割による増加が上回り、総額では13百万円(+3.02%)増となります。保険料率については、前年度の決算残金の繰入れを行い前年度と同率の1.00%に据え置くこととなります。

〈収入の部〉

(単位:百万円)

科目	平成30年度 実績見込	平成31年度 予算
介護保険収入	487	451
その他収入	6	50
収入合計	494	501
保険料率	1.00%	1.00%

〈支出の部〉

(単位:百万円)

科目	平成30年度 実績見込	平成31年度 予算
介護納付金	442	456
(1人当たり負担額)	(78,341)	(93,184)
その他支出	2	45
支出合計	444	501